

令和5年度 愛知県立日進西高等学校 学校評価【中間評価】

本年度の 重点目標	1 学習指導方法の工夫改善に努め、生徒の学力の伸長を図るとともに、望ましい勤労観、職業観を育成させ、進路目標の実現に努める。 2 生徒の規範意識を高め、命と人権を重んじる道徳心と、他人を思いやる真心を涵養し、健全な体の成長を促す。 3 協働の精神をもって職務に当たることにより、教育活動を充実させるとともに、多忙化解消に努める。 4 感染症予防対策に万全を期す。		
項目(担当)	重点目標	評価	備考
総務部	1 日進西高校安心メールの活用 2 学校行事の再検討	A A	多くの保護者が登録し、学校からの発信も適正に行われている。 コロナ禍での経験を活かし、良かった点は残しつつ新しい学校行事の在り方を常に検討している。
教務部	ICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業及び評価を行う。	B	マネジメントシートに基づき日々の実践を重ねる中で、公開授業を春・秋の2度行った。各教科会では持続可能な評価について検討を行っている。
生徒指導部	1 指導の定着 2 生徒の安全確保 3 いじめ未然防止に係る取組の充実、いじめの早期発見、適切な事案対処	C A A	全職員による指導が定着していない。 防犯に対する意識を高めるとともに通学路の危険箇所についての周知を図っている。立ち番指導をPTAと協力して行っている。 講話による指導や日常の生徒観察、健康調査、いじめ、生活アンケート等で情報収集を行い、事案対処に係る各組織の役割を具体化をしている。
進路指導部	1 望ましい勤労観、職業観の育成 2 将来を見据えた基礎力の育成	B B	総合的な探究の時間や1日看護体験・幼稚園体験などの実習を通じて勤労観・職業観の育成を図っている。 学習活動の成果を模擬試験・学びの基礎診断によって確認し、基礎力の育成を図っている。また、進路補習・学習会の活性化を図り、授業内では育成できない力の育成に取り組んでいる。
保健部	心身共に健康で明るく日常生活を営むための基本的な資質・能力を養う。	B	計画通りに実施できているが、コロナやインフルエンザの早期流行などの感染拡大があり、生徒の健康面のケアが十分ではなかった。
特別活動部	生徒の主体的・自主的活動を支援する	B	これまでの活動を振り返り、今以上に主体的・自主的に活動できる場面の設定ができたと考える。
図書部	1 読書への関心と図書室利用の向上 2 委員会活動の活性化 3 ICT教育の向上	B B B	1年の国語や2年の英語の授業などで図書や新聞の活用が出来ている。 図書館日より（読書の友）でおススメ本紹介を各委員がPDFにしてTeamsで配信している。 業務をICTを活用したものにしていく。また、プレゼンルームの積極的な活用がある。
ICT教育推進部	1 教員のセキュリティ意識の向上 2 教員の基本的スキルの習得 3 備品管理とシステムの保守	B B B	定められた手続きに従って、ソフト等の利用を行っている。 Teamsを中心に校務・授業での利用が進められている。 本年度は大きな問題となる事案が発生していないので、しっかりと管理が出来ていると考える。
1年	1 基本的な生活習慣の確立 2 基礎学力の定着、学習環境の整備 3 自主性、自律性を育てる	B A B	1学期は身だしなみが整えられていたが、少しずつ乱れてきた。 スタディサプリを計画的に配信し、自宅学習が習慣化出来るようサポートしている。 定期考査前には工夫して学習するようになったが、日々の学習にはもう少し積極性が欲しい。
2年	1 基本的な生活習慣を維持させる。 2 行事等、集団生活を通して共同性を養う。 3 向学心を育む。	B A B	概ね問題ないが、欠席、遅刻、早退が少ないとは言えない。 行事等への参加姿勢は良好な生徒が多いと感じる。 向学心はさらに高められるものと感じている。
3年	1 基本的な生活習慣を維持させる 2 より高い進路目標の設定と学力伸長を援助する 3 自啓自発の実践	A A B	維持できている。 第一志望に向けて生徒一人一人を援助できている。 入試が近い・先生に言われるからやる、といった生徒がまだ多い。自分で必要性を感じ、主体的に行動できるまで成長させたい。